

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
海部地区	津島市、愛西市、弥富市、あま市(七宝地区、美和地区) 大治町、蟹江町、飛島村、海部地区環境事務組合	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合 1) (平成28年度)	目標 (割合 1) (令和5年度) A	実績 (割合 1) (令和5年度) B	実績/目 標 2	
排出量	事業系 総排出量	13,993 t	12,857 t (-8.1%)	14,041 t (0.3%)	-3.7%
	1事業所当たりの排出量	1.17 t/事業所	1.09 t/事業所 (-6.8%)	1.31 t/事業所 (12.0%)	-176.5%
	家庭系 総排出量	65,221 t	62,107 t (-4.8%)	60,200 t (-7.7%)	160.4%
	1人当たりの排出量	199 kg/人	193 kg/人 (-3.0%)	194 kg/人 (-2.5%)	83.3%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	79,214 t	74,964 t (-5.4%)	73,826 t (-6.8%)	-125.9%
再生利用量	直接資源化量	6,121 t (7.7%)	6,151 t (8.2%)	2,366 t (3.2%)	-900.0%
	総資源化量	15,911 t (19.4%)	16,098 t (20.7%)	13,042 t (17.1%)	-138.5%
エネルギー 回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	25,584 MWh	24,766 MWh	26,162 MWh	105.6%
最終処分量	埋立最終処分量	4,843 t (6.1%)	3,940 t (5.3%)	5,244t (7.1%)	-125.0%

1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量 + 集団回収量に対する割合を記載。

2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	津島市、弥富市 あま市、大治町 蟹江町、飛島村	搬出量に応じてごみ処理費用を負担する仕組みの検討	H30～継続	<p>【津島市】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。 事業系ごみについて従量制により課金し処理料金を徴収した。</p> <p>【弥富市】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。</p> <p>【あま市】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。 事業系ごみについて従量制により課金し処理料金を徴収した。</p> <p>【大治町】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。 事業系ごみについて従量制により課金し処理料金を徴収した。</p> <p>【蟹江町】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。</p> <p>【飛島村】 家庭系ごみについて指定袋で収集して処理を行った。</p>
	12	環境教育、普及啓発	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村、組合	広報誌等による普及啓発、出前講座、環境学習教室の開催による環境教育	H30～継続	<p>【全市町村】 小学4年生を対象にごみ処理施設の社会見学を行った。</p> <p>【津島市】 各種団体や外国人移住者に対し出前講座を行った。</p>

					<p>市の広報誌に資源化・ごみの減量化等について掲載し普及啓発を行った。 ごみ処理施設の見学会を行った。</p> <p>【愛西市】 「愛西市活性化プロジェクト」にて地元高校生とごみ減量についての意見を交換した。</p> <p>【弥富市】 排出マナーが悪い人たちに向けごみ分別の直接指導を行った。</p> <p>【あま市】 広報媒体による周知啓発を行った。 小学校等に向けて出前講座を行った。</p> <p>【大治町】 ごみ分別ガイドを作成し住民に対し周知した。 環境かわら版を作成しごみ分別の啓発を行った。 啓発看板を設置した。 広報誌に掲載した。</p> <p>【組合】 構成市町村にある小・中・高校を対象に出前講座を行った。 環境学習教室を行った。 リユース品抽選提供を実施し、ごみの減量化・資源化について啓蒙啓発を行った。</p>
13	助成	愛西市、弥富市 あま市、蟹江町	生ごみ処理容器等の購入助成	H30～継続	<p>【愛西市】 生ごみ処理機及びコンポスト購入者へ補助金を助成した。</p> <p>H30 27件 265,900円 R1 13件 177,000円 H2 27件 275,530円</p>

					<p>H3 39件 278,200円 H4 31件 276,800円</p> <p>【弥富市】 生ごみ処理容器購入者へ補助金を助成した。</p> <p>・生ごみ処理機</p> <p>H30 0件 0円 R1 3件 13,200円 R2 3件 13,100円 R3 4件 16,900円 R4 4件 16,800円</p> <p>【あま市】 家庭用ごみ減量機器(電動式)設置の市民に対する補助金を交付した。</p> <p>H30 18基 282,231円 R1 9基 147,261円 R2 24基 296,390円 R3 17基 246,946円 R4 18基 300,000円</p> <p>【蟹江町】 生ごみ処理機器の購入者へ補助金を助成した。</p> <p>・コンポスト1/2(上限1,500円) ・電気式 1/3(上限20,000円)</p> <p>H30 コ 2基、電 9基 R1 コ 0基、電 7基 R2 コ 1基、電 8基 R3 コ 3基、電 10基 R4 コ 3基、電 11基 R5 コ 0基、電 19基</p>
		愛西市、弥富市 蟹江町	住民団体等が実施する集団回収への助成	H30～継続	【愛西市】 各種団体が行う資源ごみ集団回収への補助金の助成を行った。

						<p>H30 531,273kg 55団体 2,125,960円 R1 481,417kg 52団体 1,925,668円 R2 224,094kg 36団体 896,376円 R3 160,514kg 29団体 642,056円 R4 148,387kg 16団体 593,548円</p> <p>【弥富市】 各種団体が行う資源ごみ集団回収への補助金の助成を行った。</p> <p>H30 645 t 68団体 4,252,224円 R1 560 t 54団体 3,715,760円 R2 332 t 43団体 2,242,002円 R3 297 t 52団体 1,940,880円 R4 301 t 50団体 1,951,720円</p> <p>【蟹江町】 各種団体が行う資源ごみ集団回収への補助金の助成を行った。</p> <p>H30 297.13t 25団体 1,188,524円 R1 265.90t 17団体 1,063,612円 R2 205.77t 19団体 823,096円 R3 197.22t 21団体 788,860円 R4 193.11t 20団体 772,456円 R5 167.00t 20団体 667,992円</p>
14	マイバック運動 ・レジ袋対策	津島市、愛西市 弥富市、あま市 蟹江町、飛島村	レジ袋の削減に向けたマイ バック持参運動の推進	H30～継続	<p>【津島市】 ホームページに掲載しマイバック持参運動の推進を行った。</p> <p>【愛西市】 レジ袋削減協定締結事業者による推進活動を行った。</p> <p>【弥富市】 ホームページにレジ袋削減、マイバック持参に関する啓発を行った。</p> <p>【あま市】 レジ袋削減への協力を推進した。</p>	

						<p>【蟹江町】 町内4事業者・5店舗と協力協定の締結を行った。</p> <p>【飛島村】 産直市場にてレジ袋の有料化を実施した。</p>
	15	事業系ごみの発生抑制	愛西市、弥富市 大治町、蟹江町 飛島村	事業者への減量化指導	H30～継続	<p>【愛西市】 排出事業者へごみ減量化について協力依頼を行った。</p> <p>【弥富市】 事業系ごみを大量に排出する事業者と調整を行い、資源化することにつなげた。</p> <p>【大治町】 排出事業者を巡回し、事業系ごみの削減と資源化を依頼した。</p> <p>【蟹江町】 区域外のごみ・産廃が搬出され、排出元が特定できた事業所を訪問し指導を行った。</p> <p>【飛島村】 事業系ごみを排出した事業者に対し指導を行った。</p>
	16	再使用の推進	蟹江町、組合	フリーマーケット等の開催	H30～継続	<p>【蟹江町】 町民まつりにて、フリーマーケットを開催した。</p> <p>【組合】 リユース品抽選提供を実施し、ごみの減量化・資源化を行った。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別収集区分の検討	飛島村	現行の分別区分について、総合的に判断し、必要な検討を実施	H30～継続	<p>【全市町村】【組合】 令和4年に市町村のリチウム蓄電池等処理困難物の適正処理と小型廃家電リサイクル回収率向上を図るため、環境省の「リチウム蓄電池等処理困難物の適正処</p>

						理および小型家電リサイクル事業継続に向けた市町村へのコンサルティング」を行った。 【飛島村】 小型充電式電池の回収を行った。
	21	適正かつ効率的なごみ収集運搬体制の確立	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村	ごみの収集運搬について適正かつ効率的な実施に取り組む	H30～継続	【全市町村】 必要に応じ適宜見直しを実施しながら、効率的な収集運搬体制の確立に取り組んだ。 【全市町村】【組合】 ごみ処理担当者会を開催し、海部地区の効率的な廃棄物処理を構築するため、分別・収集運搬体制の協議を行った。 H30 4回 R1 5回 R2 6回 R3 4回 R4 5回
	22	適正かつ効率的なごみ処理体制の確立	組合	不燃ごみの手選別による資源化とリチウム蓄電池火災対策	H30～継続	【組合】 リチウム蓄電池の資源化促進と八穂クリーンセンターのリチウム蓄電池火災を抑制するため、不燃ごみの手選別作業を強化した。
処理施設の整備に関するもの	1	八穂クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良事業	組合	既存焼却施設の基幹的設備改良事業	H30～R3	【組合】 老朽化した八穂クリーンセンターを延命化するため、基幹的設備の改良を行うとともに、エネルギーの有効利用促進及び二酸化炭素排出量削減のための施設の改良を行った。
施設の長寿命化計画策定支援に関するもの	32	八穂クリーンセンターごみ焼却施設長寿命化計画策定事業	組合	長寿命化総合計画策定	H30～R3	【組合】 基幹的設備改良工事及び定期点検の結果等から長寿命化計画を改訂した。 〔長寿命化総合計画改訂年月〕 令和4年3月

その他	41	再生利用品の有効活用	津島市、愛西市 弥富市	グリーン購入の促進	H30～継続	<p>【津島市】 庁舎内で、再生紙及びエコマーク付き事務用品等を率先利用した。</p> <p>【愛西市】 庁舎内で、再生紙及びエコマーク付き事務用品を率先利用した。</p> <p>【弥富市】 庁舎内で、再生紙及びエコマーク付き事務用品等を率先利用した。</p>
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村	廃家電・パソコンのリサイクルに関する周知	H30～継続	<p>【津島市】 冊子、ホームページ等で周知を行った。</p> <p>【愛西市】 各庁舎内で拠点回収を行った。</p> <p>【弥富市】 ごみの分別の手引きに、廃家電のリサイクル及び廃パソコンのリサイクルについて掲載を行った。</p> <p>【あま市】 広報媒体による周知啓発を行った。</p> <p>【大治町】 小型家電の窓口回収を行った。</p> <p>【蟹江町】 町内に2箇所ある常設資源ごみ集積場で使用済小型家電の回収を開始した。</p> <p>【飛島村】 ごみ収集カレンダーに使用済小型家電のリサイクルについて案内文を掲載し周知を行った。</p>
	44	不法投棄対策	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村	不法投棄防止のための監視体制の整備	H30～継続	<p>【津島市】 早朝見回り等、随時巡回を実施した。 不法投棄が判明した場合は、指導を実施した。</p> <p>【愛西市】</p>

					<p>不法投棄禁止の看板を要望した市民へ配布した。</p> <p>【弥富市】 地区に対し看板等を提供した。 不法投棄防止のため市職員によるパトロールを実施した。 不法投棄された廃棄物に警告の張り紙を貼って啓発を行った。</p> <p>【あま市】 広報媒体による周知啓発を行った。 周知啓発用を看板の貸出しを行った。 環境保全委員による巡回・報告を行った。</p> <p>市による随時巡回・当事者への指導等を対応した。</p> <p>【大治町】 啓発看板を設置した。</p> <p>【蟹江町】 不法投棄されやすいと思われる場所に不法投棄防止啓発看板を設置した。また、町民に対して不法投棄防止看板を貸与した。</p> <p>【飛島村】 不法投棄多発地域において、環境安全指導員によるパトロールの実施や監視カメラを設置した。</p>
45	災害廃棄物の対策	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村、組合	災害時に発生する廃棄物を処理するための広域支援体制の確保	H30～継続	<p>【津島市】 県主催のセミナーに参加し、情報共有を行った。 津島市災害廃棄物計画を策定した。</p> <p>【愛西市】 災害廃棄物の研修に積極的に参加した。</p> <p>【弥富市】 弥富市災害廃棄物処理計画の策定を行</p>

						<p>った。</p> <p>【あま市】 災害廃棄物処理計画の改定を行った。 令和3年2月に沖縄県名護市と相互応援協定を締結した。</p> <p>【大治町】 災害廃棄物訓練を行った。</p> <p>【蟹江町】 県主催の研修・セミナーに参加した。</p> <p>【飛島村】 愛知県主催の研修・セミナーに参加した。</p> <p>令和2年3月に「飛島村災害廃棄物処理計画」を策定した。</p> <p>【組合】 中部地方環境事務所、愛知県主催の研修会、セミナーに参加した。</p>
--	--	--	--	--	--	--

3 目標の達成状況に関する評価

【ごみ処理】

家庭系総排出量とエネルギー回収量(年間の発電電力量)は、目標を達成することができた。それ以外の指標について、目標が達成できなかったことから、今後も各市町村が策定する一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの発生抑制、資源化等を推進し、循環型社会形成に努める。

【排出量】

○事業系

総排出量の目標12,857tに対し実績14,041tで目標が達成できなかった。これは、1事業所あたりの総排出量が1.17tから1.31tに増加したため、海部地区管内に大規模事業所(物流施設等)が増加し、1事業所あたりのごみ排出量が増加したことが要因と考えられる。今後も排出事業者への指導を行い、ごみの発生抑制と資源化等を推進する。

○家庭系

総搬出量の目標62,107tに対し実績60,200tで目標を達成できたが、1人当たりの搬出量の目標193kgに対し実績194kgで目標が達成できなかった。これは、現状(平成28年度)と比較して人口は減少しているものの世帯数が増加していることから、少子高齢化による核家族化が進んだこと、かつ、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴って1世帯あたりのごみ排出量が増加したことが要因と考えられる。

	人口(人)	世帯数(戸)
平成28年度	293,034	115,155
令和5年度(令和6年3月31日)	285,273	124,595

【再生利用量】

○直接資源化量

直接資源化量の目標6,151tに対し実績2,366tで目標が達成できなかった。これは、民間のリサイクル回収拠点に資源ごみが排出されたため、集団回収量が減少したことが要因と考えられる。

○総資源化量

総資源化量の目標16,098tに対し13,042tで目標が達成できなかった。これは、直接資源化量の減少と焼却残さの資源化量が減少したため、総資源化量が減少した。経済停滞等によりセメント需要が低下するなど、焼却残さを資源化(セメント化)している事業者が事業規模を縮小して焼却残さの資源化量が伸び悩んだのが要因と考えられる。

【エネルギー回収量】

○エネルギー回収量(年間の発電電力量)

熱回収率(年間の発電電力量)の目標24,766MWhに対し実績26,162MWhで目標を達成できた。これは、八穂クリーンセンターの基幹的設備改良工事によりエネルギー回収率を高めた施設整備を実施したことが要因である。また、処理対象物の十分な攪拌を行い、効率的かつ安定

的な燃焼による発電を行ったことが考えられる。

【最終処分量】

○埋立最終処分量

埋立最終処分量の目標3,940tに対し実績5,244tで目標が達成できなかった。これは、焼却残さの資源化業者が経済停滞等により事業規模を縮小したため、焼却残さの最終処分量が増加したのが要因と考えられる。

(都道府県知事の所見)

○目標の達成状況について

家庭系総排出量とエネルギー回収量(年間の発電電力量)については、目標を達成することができた。これは、住民への啓発活動やごみ焼却施設における効率的な運営等の効果が表れているものと考えられる。

目標を達成した指標については、引き続き循環型社会の形成が進展するよう取り組まれない。なお、目標未達成の指標(事業系総排出量、事業系1事業所・家庭系1人当たりの排出量、事業系家庭系総排出量合計、再生利用量、最終処分量)に関する所見は、循環型社会形成推進地域計画改善計画書に記載する

○各施策の実施状況について

発生抑制、再利用の推進に係る施策については、ごみ処理手数料の有料化、環境教育・啓発活動が実施されるなど、おおむね計画どおりに実施されている。処理施設の整備に関する施策、施設整備に係る計画支援に関する施策については、事業進捗に応じて適宜計画を修正しつつ、適正に実施してきた。その他の施策についても、不法投棄対策や災害廃棄物処理計画の策定など計画どおりに実施されている。